

Essay

Sapiarc.com

2015年1月15日(2015-1)

「ヴォルテール名言」は現代に通じるか？

「私はあなたの意見には反対だが、あなたがそれを主張する権利は命をかけて守る」という言葉は、18世紀のフランスの哲学者ヴォルテールの名言として、よく知られている。ところが、Wikipediaの日本語版によると、これはヴォルテール自身が言った言葉ではなく、タレントアイア (Stephen G. Tallentyre) という人の「ヴォルテールの友人」(“The Friends of Voltaire”) という著作(1906年刊)のなかに出てくる「“I disapprove of what you say, but I will defend to the death your right to say it,” was his attitude now.」が元になっているのだそうだ。つまり、ヴォルテール自身が書いたものではないが、ヴォルテールは、そういう考え方をしていた人だったということだ。なお、ヴォルテール(Voltaire)は筆名で、本名ではないそうだ。

この言葉は、民主主義の基本原則のひとつのように扱われていて、私も頭の中では賛成しているのだが、現実には、これに忠実であることは案外難しいということも知っている。世の中でいろいろな経験を積んで来た人には、おそらく私の言っていることはわかってもらえるのではなかろうか。世の中は、ヴォルテールや彼が付き合っていた人たちのような、いわば常識のある知識人だけで構成されているわけではない。人に迷惑をかけることを平気で言ったり、したりする人も少ないわけではない。また、こういう点については、学歴に意味があるかどうかにも疑問がある。大学院まで出ている人なら誰でも常識のある行動をするとは限らないのだ。

それは、最近代表的な研究所で起きた事件に端的に表れている。私自身も、埼玉大学の学長を務めていたとき、この「ヴォルテールの名言」を振りかざして、私の方針にあくまで反対し、まったく自分勝手な主張を押しまくろうとする人が居て、対応に無駄な時間を使わされた経験を持っている。こういう人たちの意見を尊重することは、害になりこそすれ、益はない。したがって「ヴォルテールの名言」にしたがうことはできないのだ。

今の世界での大問題のひとつは、イスラム過激派が起こす種々の問題とどう向き合うかということだと思う。1月7日にパリで起きた2つの事件の犯人たちは、イエメンのタリバン系組織の指示にしたがって、自分たちはジihadをしているつもりだったことがわかってきている。こういう人たちには、フランス革命の旗印であり、その後の民主主義の根幹をなすものとされる「自由、平等、博愛」などは大して意味のあるものではなく、いわんや「表現の自由」などはどうでも良いことに過ぎない。彼らにとって重要なものは、コーランに書かれていることを自分たちに都合の良いように解釈したことだけなのだ。マホメットを戯画化したことを問題にするのなら、言論によって反論することができるだろうし、訴訟を起こすこともできる。そういう通常の手段を一切省略して、直接新聞社に乗り込んで、編集会議中の人たち12人をいきなりカラシニコフ銃で撃ち殺すというのは、余りにも非道というものだ。こういう連中の意見は尊重されるに値しない。

事件の裏には、イスラム教徒の移民及びその子弟がヨーロッパ各国で増えて、10%に近づいていることがあることは疑いない。彼らの国籍は現在住んでいる国だ。今回の事件を起こした3人もアルジェリア系フランス人だ。そういう人たちが増えたことには、いろいろな理由があるのだろうが、そのひとつは、下働きの仕事をする人として、そういう人たちが必要だったのだ。もう20年も前のことになったが、私がかなり頻りにパリに行っていたとき、中心部の主な道路を掃除しているのはそういう人たちだった。古くからパリに住んでいる人たちは、そういう仕事をしながらなくなっていた。社会の下層階級を構成する、そういう人たちには当然不満はつものだろう。それが、何らかのきっかけがあると、今回の事件のような大変なことに繋がるのだ。

日本でも、労働者不足を海外からの移住者で解消しようと主張する人たちがいる。これには私は賛成できない。

今は、幸いロボットや人工知能の研究が進んで、人に代わる精密な装置を作ることができるようになっており、その技術は今後どんどん進むことは間違いない。このような時代に、人口減少を過度に心配して、移民増加政策に走るとは、将来に禍根を残すことになる。ロボットや人工知能でできることを増やしていけば、人口減少をカバーすることは可能であり、そうすることによってこそ生産性を向上させ、人々の生活程度を高めることができるはずだ。

上記のことと、「ヴォルテールの名言」には直接の関係はない。しかし、議論のための議論に時間を使うことは止める方が良い。物事はきちんとしたデータを集め、偏見にとらわれずに、それを解析することから始めるべきだ。そうすれば、反対しようのない結論が必ず出るはずだ。結論が出なければ、先送りするしかない。時間が経てば、状況は変わるので、自然に結論は出る。それを待たずに、「ヴォルテールの名言」にしたがって、無駄な時間を使うべきではない。
(おわり)